

## 人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	隔離下の高齢者の転倒の現状と課題
所属科	320 病棟
研究責任者	永田 晴香
研究期間	倫理委員会承認後～令和3年12月末日まで
研究概要	<p>○目的</p> <p>当院の感染症内科では、感染隔離のため活動が病室内に制限されており、高齢者の転倒発生件数が2021年1月だけで12件発生した。老年期の肺葉症候群による下肢筋力の低下、バランス機能の低下などは転倒リスクを高める。そこで、転倒した患者に対して、実際にどのようなケアを行っていたか振り返り、転倒発生要因を分析し、隔離下にいる高齢者の転倒を防ぐために不足していた点・改善方法を明らかにし、今後の看護に活かす。</p> <p>○対象</p> <p>新型コロナウイルス感染症罹患者</p> <p>○方法</p> <p>(1) 転倒に関する全体の傾向を把握するため、インシデント報告書・カルテより情報収集し、エクセルを使用して①転倒発生場所②転倒時刻③年齢④使用薬剤⑤転倒前のADL⑥転倒既往歴⑦入院日数⑧認知症の有無⑨その他患者の個別性を集計。</p> <p>(2) カルテを振り返り、患者の事故発生前の状況、事故発生時の状況、看護計画内容を振り返り転倒発生要因を分析する。</p> <p>(3) 転倒・転落予防のベストプラクティス<sup>5)</sup>に記載されている予防対策を参考に、不足していた観察やケア内容を振り返り、改善方法を見つける。</p> <p>○利用する項目</p> <p>事例研究</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>得られた情報は個人が特定されないように匿名化し、事例研究以外に使用しない。紙媒体は鍵のかかる引き出しに保管し、研究終了後は速やかに裁断処理する。研究データはパソコン内で作成しパソコン内は作成しパスワードをかけ、院内LANファイルサーバーに保存する。研究データは研究者のみが閲覧する。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問合せ先までご連絡ください。</p>

